

# 한통련 뉴스레터

제88호

発行:在日韓国民主統一連合 (韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284

メール [chuo@korea-htr.org](mailto:chuo@korea-htr.org) ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください)

## 정세 情勢

### ●韓米合同軍事演習「UFS」実施…軍事演習・軍事同盟に断固反対する！



「朝鮮半島平和行動」が大統領府前で軍事演習に抗議し記者会見

### 韓米合同軍事演習「ウルチフリーダムシールド」、19～29日に実施

韓国軍合同参謀本部と韓米連合軍司令部は8月12日、共同記者会見を行い、朝鮮半島有事を想定した定例の合同軍事演習「乙支(ウルチ)フリーダムシールド(UFS)」を19日から29日まで実施すると発表した。

合同参謀本部によると、今年の演習は地上・海上・空中での機動・射撃など野外機動訓練を拡大する。野外機動訓練は計48回で昨年に比べ10回多い。旅団級の大規模訓練は4回から17回と4倍以上に増える。

同本部は「北朝鮮(※正しくは朝鮮、以下同じ)の大量破壊兵器への対応や地上・海上・空中・サイバー・宇宙などのさまざまな資産を活用した多領域作戦を実施し、いかなる挑発にも対応できる韓米同盟の能力と態勢を一層強化する」と表明。

軍事演習と連動し、韓国政府が初めて北朝鮮の核の使用を想定した国民保護訓練を実施する。同本部は、今回の軍事訓練部分は「北朝鮮の大量破壊兵器による攻撃への対処」に重きを置くと説明する一方、演習の軍事訓練で北朝鮮の核攻撃を想定したものは実施されないという。

演習には在韓国連軍司令部の加盟国が例年より多く参加し、中立国監視委員会が朝鮮戦争停戦協定の順守を確認する。

北朝鮮は同演習を「北侵戦争演習」と主張し、強く反発している。

### 韓・米・日の合同軍事演習と軍事同盟に断固反対する

UFSでは北の核攻撃を想定した政府訓練を初実施するとし、軍事訓練では実施しないとしている。しかし、軍事訓練では「北の大量兵器による攻撃への対処」に重点を置くとする。朝鮮の「大量破壊兵器」が核兵器を指すことを念頭に置けば、UFSが核演習の導入へと段階的に進みつつあることは明らかである。韓米首脳は両国の核協議グループが取りまとめた「核作戦指針」を7月、ワシントンで追認した。

UFSには在韓国連軍司令部の加盟国も積極参加し、同司令部の再活性化も顕著だ。さらには「フリーダムエッジ」から本格的に始まった韓米日合同軍事演習も今後、質量ともに強化しながら定例化される計画で、実質的な韓米日軍事同盟の構築に

拍車をかけている。韓米日国防担当相は7月、東京で「3カ国安保協力フレームワーク」についての「協力覚書」に署名した。3カ国首脳はキャンプデービッド会談から一年となる18日、共同声明を通じて、こうした点に触れながら「今後も強固な協力を維持する」と表明した。

朝鮮半島にとどまらず東アジアからイン

ド太平洋、さらには地球規模で米国主導の多国籍軍が構成されようとする中、尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権は前のめりともいえる対米追従姿勢で先兵的役割を引き受けている。しかし、それは朝中口との対決を一層強めることになり、朝鮮半島に戦争の危機をもたらすだけだ。韓・米・日の合同軍事演習と軍事同盟に断固反対する。

## ●尹大統領、「8・15統一ドクトリン」発表…「統一ドクトリン」ではなく「対決ドクトリン」



光復節記念式典で演説する尹錫悦大統領

### 尹大統領、「光復節」式典で「8・15統一ドクトリン」発表

尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領は8月15日、ソウル世宗文化会館で開催された日本の植民地支配からの解放記念日「光復節」の記念式典で演説し、「分断体制が続く限り光復（解放）は未完成」として、「朝鮮半島全体に自由・民主・統一国家がつくられる日に完全な光復が実現される」と述べた。

尹大統領は南北統一に向けた三つのビジョンと三つの推進戦略を提示した。三つのビジョンとしては「自由と安全が保障される幸せな国」、「創意と革新で飛躍する強くて豊かな国」、「世界平和と繁栄に寄与する国」を挙げた。三つの戦略としては「自由統一を推進する自由の価値観と力の培養」「北朝鮮（※正しくは朝鮮、以下同じ）住民の自由統一に対する熱望促進」「自由統一に対する国際社会の支持確保」を示した。ここに統一計画の活性化など七つの統一推進案を加えた構想「8・15統一ドクトリン」（※ドクトリンとは政治・

外交・軍事などにおける基本原則。教理、教義）を発表した。

また、北朝鮮住民の変化のため、「情報接近権」を拡大すると強調。「多くの脱北者は韓国のラジオ放送やテレビを通じ北の政権の偽りの宣伝・扇動に気付いたと証言している」とし、「北の住民が自由の価値に目覚めるようにすることも重要だ」と訴えた。そのうえで北朝鮮の人権に関する国際会議と北朝鮮自由人権ファンドの創設を推進する考えを示した。

事実上断絶している南北対話のため、実務者が参加する「対話協議体」の設置も提案した。尹大統領は「（協議体で）緊張緩和を含む経済協力、人的往来、文化交流、災害と気候変動への対応までいかなる問題も扱える」と表明。離散家族や国軍捕虜、拉致被害者などの人道問題も協議できると説明。「非核化の一步を踏み出すだけでも政治的、経済的な協力を始める」と言明した。

また、「自由統一に対する国際社会の支持をけん引するため一層努力する」とし、有志国と「国際朝鮮半島フォーラム」を創設する方針を明らかにした。

尹大統領の演説に対し、与党「国民の力」が「統一ドクトリン」構想を高く評価する一方、野党は、「論評する意味すら見つかからない最悪の演説」（「共に民主党」）、「尹大統領はニューライトや親日派の宿主でなく本体」（「祖国革新党」）と批判した。（※ニューライトは日本による植民地支配を美化する新保守派）

独立運動関連団体、政府に抗議し別に式典開

催

一方、韓国の独立功労者と遺族でつくる「光復会」などの独立運動関連団体は、ソウル孝昌公園内の白凡記念館で別に「光復節」記念式典を開催した。光復節の式典が政府主催と独立運動関連団体主催に分かれて開催されたのは今回が初めて。

独立運動関連団体は、独立運動に関する遺物や資料を保存・展示する独立記念館（忠清南道天安市）の館長人事を巡り、ニューライト系とされる金亨錫（キム・ヒョンソク）氏が任命されたことに強く反発した。

団体側によるこの日の式典は、光復会を含む37団体からなる「独立運動団体連合」と25の団体で構成された「抗日独立先烈宣揚団体連合」が共同で主管。共に民主党的朴賛大（パク・チャンデ）院内代表、祖国革新党的曹国（チョ・グク）代表ら野党関係者約100人も出席した。

光復会の李鍾贊（イ・ジョンチャン）会長は演説で「近ごろ真実に対する歪曲と親日史観に染まった低劣な歴史認識が幅をきかせ、韓国社会を混乱に陥れている」と述べ、金氏の任命に抗議するために式典を別に開催したと説明した。李氏は「光復の誇らしい歴史をこえてわれわれが進む挑戦は朝鮮民族統一の道」として、自主、平和、民主の原則に基づき朝鮮半島の恒久的平和と共同繁栄を築かなければならないと強調した。

野党と「韓日歴史正義平和行動」、「自主統一平和連帯」などの市民社会団体は光復節前日の14日、国会本館前で「8・15光復79年 尹錫悦政権の屈辱外交糾弾！ 国会・市民社会1000人宣言 記者会見」を開催。尹政権の歴史認識と対日姿勢を糾弾し、金氏の任命に抗議した。また各界の市民社会団体は光復節を迎えて一斉に声明や論評を發表し、奪われた主権を取り戻し新しい国をつくるための独立運動家の熱望を継承するとし、尹政権の反民族的姿勢を厳しく批判した。

「統一ドクトリン」ではなく「対決ドクトリン」

8月15日光復節は、日本帝国主義によ

る植民地統治の民族的苦難を思い起こし、独立のために日帝に立ち向かった民族烈士の功を立場をこえて称える日である。しかし今年はそのようではなかった。その背景には尹政権の歴史歪曲と対日屈辱外交があり、直接の原因は独立記念館長にニューライト人士を強行任命するという反民族的行為である。

尹大統領の恣意的な人事については、労働者の権利を否定する雇用労働部長官候補、放送メディアの掌握を狙った放送通信委員会委員長の任命、差別禁止条約に反対する人権委員会委員長候補、自身と金建希夫人に関連した諸疑惑の捜査に備えた検察総長の抜擢、海兵隊員殉職事件への外圧疑惑が取りざたされる大統領警護室長の国防長官への転任などのケースが指摘されている。その職責に適格でない人物や親尹人士を重用したことが、多くの論難を巻き起こしているが、尹大統領の独善と専横に変化はない。

尹大統領の「光復節」演説では例年触れてきた対日関係への言及はなく、日本軍「慰安婦」や強制動員被害者への慰労もなく、日本政府に対して謝罪と反省を求めることもなかった。「未来志向の韓日関係」の名の下に、歴史問題を完全に封印した。

朝鮮の住民に自由な韓国の姿を知らせ、統一への希望を抱かせる新たな推進戦略とする「統一ドクトリン」は、「自由」を全面に打ち出した吸収統一論に過ぎない。北側住民の変化のために「情報接近権」を拡大するとは、つまり「対北宣伝ビラ散布」と「対北拡声器宣伝」をさらに強化拡大するということであり、それが南北間の葛藤と対決を煽り、軍事緊張を激化させるだけなのは明らかだ。平素、「吸収統一」だ「体制統一」だと対北敵視政策を繰り広げてきた尹政権が急に「統一ドクトリン」を口にしても、朝鮮は応じない。朝鮮は対南路線の転換の中で「『吸収統一』『体制統一』を国策とする韓国とは統一が実現できない」と明言している。

尹大統領の「統一ドクトリン」は、結局は「統一」の外皮をまとった「対決ドクトリン」と言わざるを得ない。

## ●情勢短信

### 「佐渡島の金山」韓国国会議員が訪問…「強制労働」の明記求める

韓国の野党議員5人が8月15日「光復節」に訪日し、朝鮮半島出身者が強制労働させられた「佐渡島の金山」の世界遺産登録を巡り、植民地時代の強制動員の歴史的事実が十分に反映されていないとして、日本政府にこれを明記するよう求めた。参院議員会館で開催された記者会見で、5人は意見書を日本外務省に渡そうとしたが断られ、面会要請も拒否されたと明らかにした。訪日団の団長を務める「共に民主党」の李在康（イ・ジェガン）議員は「日本が本当に韓日関係改善を望むなら、過去の歴史について隠さず真実を伝え、反省しなければならない」とし、「日本政府が歴史の真実を直視し、和解のための具体的措置を取るよう引き続き促す」と述べた。会見には社民党副党首の大椿ゆうこ参院議員も同席した。5人は16日、「佐渡島の金山」を訪問し相川郷土博物館の展示などを確認。また強制動員被害者の追慕祭を行った。

### 「8.17拒否権拒否汎国民大会」開催…9月28日には「尹政権退陣大会」開催

「労組法・放送法をかちとろう！ 8.17拒否権拒否汎国民大会」が8月17日、ソウル光化門大通りで開催された。主催は「拒否権拒否非常行動」と「言論掌握阻止共同行動」、「労組法2・3条改正運動本部」、「民主労総」など。国会を通過した労組法と放送法に尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領が拒否権を行使したことに対し、参加者は怒りの声を上げた。進歩陣営では9月28日、尹政権退陣を要求する大規模な民衆大会を準備中。ヤン・ギョンス民主労総委員長は「朴槿恵（パク・クネ）政権を退陣させた民衆総決起をわれわれが成し遂げたように、尹政権を引きおろす闘いの先頭に立とう」と強調した。大会後、参加者は闘争決意を示すパフォーマンスを繰り広げ、ソウル市内を行進した。

### 進歩党、各界の進歩団体と共に尹大統領弾劾推進を公式宣言



進歩党が国会本館前で記者会見を開き、尹大統領弾劾推進を宣言

進歩党が8月20日、国会本館前で記者会見を開催し、労働者・農民・女性・貧民など、各界の進歩団体と共に尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領の弾劾推進を公式宣言した。記者会見には、進歩党のキム・ジェヨン常任代表とユン・ジョンオ、チョン・ヘギョン、チョン・ジョンドク議員、ヤン・ギョンス民主労総委員長、ハ・ウォノ全国農民会総連盟議長、ヤン・オッキ全国女性農民会総連合会長、チェ・ヨンチャン貧民解放実践連帯議長、パク・ソグン尹錫悦退陣運動本部共同代表、キム・ミヌン全国キャンドル行動常任

代表らに加えて、「共に民主党」からキム・ジュニョク議員（「キャンドル行動と共にする国会議員の集い」幹事）が参加した。キム・ジェヨン常任代表は宣言文を通じて「大統領を一日も早く権力の座から引きおろすために国民と共に弾劾を推進する」と明らかにした。キム議員は「400万民主党員の大部分が尹錫悦弾劾を叫んでいる」「党代表を含め最高委員全員が尹錫悦弾劾に集中できるよう役割を果たす」と主張した。以後の計画として、△国会内に「弾劾連帯議員の集い」を結成△退陣運動本部を市郡区まで組織し9・28民衆大会に結集△改憲など弾劾後の社会大改革の課題準備を提示した。

## 활동보고 活動報告

### ●韓統連が「戦争助長 韓米日－韓日軍事同盟推進 尹錫悦退陣！ 8.15汎国民大会」に参加…反米自主・平和統一をアピール



ソウル市内を行進する韓統連と日韓平和連帯のメンバー

韓統連は8月9日から11日にかけて、「自主・平和・統一！ 光復79周年 韓統連訪問団」を結成し、日韓平和連帯とともに8月10日に韓国・ソウルで開催された「戦争助長 韓米日－韓日軍事同盟推進 尹錫悦(ユン・ソンニョル) 退陣！ 8.15汎国民大会」に参加した。

9日には韓国進歩連帯を中心に、6・15市民合唱団、ウリハッキョ支援市民の集い、KIPF(コリア国際平和フォーラム)、全大協同友会、全国民主同門会、平和の道、統一の道、統一時代研究院が開催した歓迎交流会に参加。再会を喜びあった。韓統連三重本部の安昌浩(アン・チャンホ)副代表委員の乾杯あいさつ後、韓国進歩連帯のハン・チュンモク常任共同代表が歓迎あいさつ。「統一運動を進めていくのが難しい現状だが、かつて文益煥(ムン・イッカン)牧師は『たとえ四方が壁に囲まれていても、壁を叩き続ければ壁は崩れ、門となる』とおっしゃった」「親日守旧勢力、尹錫悦(ユン・ソンニョル) 検察独裁の壁を叩き、朝鮮には制裁を加え、韓国には干渉する米国の壁を叩き、倒さなければならない」と強調し、汎国民大会での闘争をともに貫徹していくことを訴えた。

金昌五(キム・チャンオ)副委員長(訪問団団長)があいさつ。歓迎に対して感謝

しながら「79年前の今日、米国が長崎に原爆を投下し、多くの人命を奪った。今日は世界のどこにも、誰にも核兵器を使ってはならないという誓いを新たにする日だ。現在世界で最も核戦争の危機が高いのは朝鮮半島であり、わたしたちは決して、朝鮮半島で核戦争を起こさせてはならない。今日、明日と、国内の同志たちとともに力強く闘っていきたい」と語った。

10日午前は韓国進歩連帯の事務所で結団式を開催。李俊一(イ・チュニル)事務長(訪問団事務局長)が日程・内容を解説し、参加者全員の意気込みを共有した。

汎国民大会の会場であるソウル崇礼門(スンネムン)に移動し「統一ピビンバ」で昼食後、午後2時から同会場で「歴史正義き損 韓米日軍事同盟推進 尹錫悦退陣 8.15市民大会」に参加。韓統連と日韓平和連帯が主催者から紹介され、参加者から熱烈な歓迎を受けた。大会後、米大使館前まで行進。韓米日軍事演習中止、在韓米軍撤収などを力強く訴えた。

午後3時から汎国民大会が開催。自主統一平和連帯のイ・ホンジョン常任代表議長が主催者あいさつ。尹錫悦政権に対して「国民の生命と安全に対して無責任であり、戦争を助長し対米従属と親日売国外交によって朝鮮半島に永久分断と核戦争の危機を招いている」と批判。「自主平和統一を実現するための第一の課題は、尹錫悦政権の退陣だ」と訴えた。大会推進委員会の常任代表10人が大会アピール(後掲)を朗読。△対北ビラ散布の即刻規制、拡声器放送の全面中止△韓米合同軍事演習中止、戦争計画撤回△歴史歪曲、隠ぺいなど親日事大政策の即時中止△対北崩壊政策の即時破棄などを要求した。

大会後、ソウル市内で国内団体と交流会を開催。各団体があいさつする中、韓統連から李俊一事務長があいさつ。「尹錫悦政

権の愚行の中でも、最近特に怒りを感じたのが佐渡金山の世界遺産登録だ。日本政府の歴史歪曲を黙認し、わたしたち在日同胞の存在を否定した。「戦争の歴史を隠ぺいするのは、これから戦争を起こす意思があるからだ。わたしたちは祖国統一のため、まずこのような戦争勢力を徹底的に叩かなければならない。韓統連は、これからも国内の同志と共に祖国の平和と統一のために闘っていく」と語った。安昌浩副代表委員から韓統連（当時韓民統）が制作したキム・ミンギ氏、ヤン・フィウン氏のLPレ

コードを6・15市民合唱団に贈呈。参加者から次々と闘争歌が披露され、大盛況となった。

11日午前に進歩連帯事務所で解団式を開催。金昌五副委員長は訪問事業を振り返り「今回の闘いの中で、私たちは軍事演習の中止、尹錫悦政権の退陣、米国の圧力に屈しない自主的民主政府の樹立、連邦制統一の実現という課題を共有した。今回勝ち取った成果を日本で共有し、来年の光復節80周年には100人の訪問団を目指し、これから頑張っていこう」と語った。

## 自主・平和・統一！ 光復79周年 韓統連訪問団 感想文

韓統連三重本部 丁勝明（チョン・スンミョン）事務局長



韓統連の横断幕を掲げ行進する丁勝明事務局長（中央）

自主・民主・統一運動の闘いで韓国を訪問するのは、2005年8月に当時韓青の一員として初めて参加してから実に19年ぶりになります。今回は連れ合いの金美樹（キム・ミス）氏と共に参加することができました。

今回訪問団に参加するにあたって、私は国内の同志たちとともに、尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権退陣、反米自主、在韓米軍撤収の声をあげ、闘いを貫徹し、連帯強化に貢献することを目標にしました。

8月9日ソウルに到着したのが21時30分頃で、その時には韓国進歩連帯が主催してくれた団結交流会

は終盤を迎えていました。訪問団の他のみなさんは、6・15合唱団をはじめ、国内の同志たちと積極的に交流を深めており、その姿を見てわたしも頑張らねばと思ひ席に着きました。すると、なんと目の前には韓国進歩連帯の韓忠穆（ハン・チュンモク）常任共同代表が座っておられ、金昌五（キム・チャンオ）団長の紹介でかろうじてあいさつはしたものの、ほとんど交流することができませんでした。

8月10日10時から、コリア国際平和フォーラムのリュ・ギョンワン理事長に韓国進歩連帯の事務所に案内していただき、結団式を行いました。その後いよいよ大会場へ。

8・15汎国民大会の会場にはすでに多くの人が集結しており、熱気が高まっていくのが肌で感じられました。わたしたち訪問団は、会場の一角で市民団体の人たちが用意してくれ

た統一ピビンバを食べ水分を補給し、この後の大行進に備えました。その間も韓統連のブースには国内活動家が足繁く訪問し、互いに握手を交わし再会を喜んでいました。なんとも頼もしく、またうらやましい思いがこみ上げてきました。

13時ころ、キルノリ（民族楽器演奏）隊がわたしたちの前に現れ演奏が始まり、炎天下の中、熱心に踊っていました。途中わたしたちも共に踊りました。熱気はさらに上昇し、キルノリ隊はそのまま大行進を先導しました。

行進直前に市民集會が開催され、そこで韓統連と日韓市民連帯が紹介され、気が引き締まりました。大会後、行進が出発。会場から市庁、そして光化門へと向かいます。

行進の道中には様々な団体、個人が「親米で親日、朝鮮への戦争策動を目論む尹錫悦政権打倒」「反米自主、韓国は米国の基地ではない！米軍は韓国から出ていけ！」などと訴えていました。私たちも米国大使館の前で「米国は出ていけ！」と声を張り上げ訴えました。

わたしは「在日韓統連 日韓平和連帯 韓国訪問団」「自主・平和・統一」と書かれた横断幕を手にもつてソウルの地で行進したことがとても誇らしく思えました。

集會後の交流会では韓統連が来ていることを聞きつけた国内の同志たちが駆け付け、会場に入りきれないほどでした。代表団として参加した以上、何か爪痕を残そうと「反戦反核歌」を広島本部の尹康彦（ユン・ガンオン）代表委員と一緒に熱唱しました。飲んで食べて、国内との交流を楽しみました。

翌日の解団式では参加者全員から感想が述べられ、すべての公式行事を貫徹することができました。

今回参加して思ったことは、ただ用意されたものに参加するだけではなく、自主・民主・統一運動の主体者として現場の一員となり、統一ピビンバと一緒に作ったり、チャングと一緒に叩いたり、もっと多くのことを一緒にするために企画段階から共ににできたら、よりいいなと思いました。そのためにも継続は力なりをモットーに、ささやかではありますが、毎日、韓国語アプリ（DUOLINGO）でウリマルを学習しています。

来年の80周年記念大会はもっと主体的に、もっと大きな隊列で臨めるように、これからも自主・民主・統一の旗の下、反米自主化闘争、尹錫悦政権退陣闘争を力強く推進し、自主的民主政府を樹立し、祖国統一を成し遂げるために邁進していきたいと思ひます。共に闘いましょう！

## 8.15汎国民大会 アピール

### <戦争助長、韓米日－韓日軍事同盟を推進する尹錫悦政権は退陣しろ！>

南北間ですべての対話チャンネルが断絶し、軍事境界線一帯の衝突を防止してきた「9.19軍事合意」まで効力停止する中、朝鮮半島の軍事危機が引き続き高まっている。

わたしたちは尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権の人為的な戦争助長の動きを強く糾弾し、次のように要求する。

対北ビラ散布と拡声器放送など、軍事行動の一環である「対北心理戦」は南北衝突を助長するだけでなく、非武装地帯に向けた敵対行為を禁止した停戦協定と対北拡声器放送の禁止を明文化した南北関係発展法に対する違反行為である。尹錫悦政権は対北ビラ散布をただちに規正し対北拡声器放送をすべて中止しろ！

陸上と海上の軍事境界線の最隣接地域で相手を狙った実射撃訓練の進行は、それ自体が敵対行為であり、特に相互境界線が合意されていない西海（黄海）での訓練は危険千万きわまらない。尹錫悦政権は軍事境界線隣接地域の実射撃訓練をすべて中止しろ！

米国の核戦略に韓国の在来式戦力を動員する韓米核戦略指針は、米国の覇権政策に韓国軍を急先鋒として差し出すものであり、同時に朝鮮半島における核戦争の危険を一層高める危険千万な措置である。韓米合同核戦争演習を中止し、戦争計画をただちに撤回しろ！

「自由民主主義」という偽りの包装紙をかぶせたまま、北を敵と規定し政権崩壊、指揮部除去などを公然と主張し推進する尹錫悦政権の対北敵視政策は、緊張を高め葛藤を激化させるだけである。尹錫悦政権は対北崩壊政策をただちに廃棄しろ！

尹錫悦政権は日本との軍事協力のために歴史正義と主権を自ら放棄するのはもちろん、米国の利益のための覇権戦争の急先鋒を自任している。わたしたちは尹錫悦政権の事大屈辱外交、新冷戦対決偏向外交を強く糾弾し次のように要求する。

尹錫悦政権は日本軍性奴隷制、強制動員など植民地犯罪を消そうとする日本の動きに積極的に協力しており、独島領有権を侵犯する日本の態度を黙認し、独立記念館長に親日ニューライト人士を任命するなど、反歴史的、反主権的行為を続けている。尹錫悦政権は日本の植民地犯罪の隠ぺい、歴史正義のき損など親日事大政策をただちに中止しろ！

自衛隊の朝鮮半島への再進出を裏付け、新冷戦対決を激化させる韓米日－韓日軍事同盟の推進が全面化されている。朝中口を敵に強要する韓米日－韓日軍事同盟の推進が主権と平和、民生をひどくき損するのは火を見るよりも明らかである。尹錫悦政権は安保危機を呼び起こす韓米日－韓日軍事同盟の推進をただちに撤回しろ！

米国は在韓米軍の活動範囲の拡張と国連軍司令部の軍事機能の復活など、朝鮮半島を新冷戦対決の最前線へと追い込む中で、防衛費分担金の大幅増額も要求している。この地は米国の戦争基地ではない！ 防衛費分担金の屈辱交渉をただちに中止しろ！

自主と平和、統一へと向かう民族の歩みを徹底して塞ぎ、総選挙での厳重な審判を徹底して無視したまま、戦争助長、事大売国で一貫する尹錫悦政権をそのままにしては、主権と平和も国民の安全も実現することはできない。

これ以上はたえられない！ 戦争助長、韓米日－韓日軍事同盟を推進する尹錫悦政権は退陣しろ！

2024年8月10日

戦争助長、韓米日－韓日軍事同盟推進 尹錫悦退陣！ 8. 15汎国民大会 参加者一同

原文 <https://www.tongilnews.com/news/articleView.html?idxno=211336>



写真で見る「8.15韓統連訪問団」活動



歓迎交流会



韓国進歩連帯に記念品贈呈



統一비빔밥



米国大使館に向かって行進



汎国民大会



韓青チンチャ코리아ツアーと合流



交流会で熱唱



解団式

## ●「8・6ヒロシマ平和へのつどい2024」開催…尹康彦広島代表委員がアピール



アピールする韓統連広島本部の尹康彦代表委員

「8・6ヒロシマ平和へのつどい2024 被爆・敗戦79年 反戦・反原子力・反ジェノサイド ～イスラエルのガザ虐殺、パレスチナ占領をやめさせよう～」が8月5日、広島市まちづくり市民交流プラザで開催された。主催は韓統連広島本部も参加する同実行委員会。

つどいでは各分野で活動する方々がそれぞれの取り組みについて発言した。広島パレスチナともしび連帯共同体の湯浅正恵さんから、8月6日当日の原爆ドーム周辺への入場規制の経緯と背景について報告があ

り、「松井一實広島市政による原爆ドーム周辺での入場規制・「表現の自由」圧殺に反対する緊急共同声明」を確認した。

韓統連広島本部の尹康彦（ユン・ガンオン）代表委員が「朝鮮半島の平和と南北統一のために」をテーマに発言。朝鮮の対南政策の転換や韓国で尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権退陣闘争が高まっていることに言及し、朝鮮半島の平和と南北統一のために韓米日合同軍事演習の中止と南北合意・朝米合意の履行が必須であると強調した。

韓国から参加した「広島原爆79年朝鮮人犠牲者追悼団」を代表して「統一の道」のチョ・ウォノ代表があいさつ。来年の光復80年、広島被爆80年に向けて米・日両政府にそれぞれ原爆投下と植民地支配への謝罪と名誉回復を訴える闘いを韓日で連帯し闘い抜くことを訴えた。

集会の最後には「市民による平和宣言」を朗読し全体で確認した。また、翌日のデモでは韓青中央本部の韓成祐（ハン・ソンウ）委員長がアピールした。

## ●韓米合同軍事演習に反対し米国大使館前で抗議行動…韓成祐委員長がアピール



アピールする韓成祐委員長

8月19日より開始される韓米合同軍事演習「乙支フリーダムシールド」に反対する米大使館前抗議行動が8月8日に行われ、韓統連・韓青も参加した。主催は「資本主義を超える新しい時代を拓く反戦実行委員会」。

実行委の尾澤孝司氏が主催者あいさつ。

「今回の韓米合同軍事演習は核戦争演習だ。今年に入って日本も韓米に対して積極的に軍事協力を行っており、このような動

きは朝鮮半島のみならず、アジア全体の緊張を高めていく。断固反対していこう」と語った。

韓青中央本部の韓成祐（ハン・ソンウ）委員長がアピール。韓委員長は韓国の尹錫悦（ユンソンニョル）政権に対して「韓米日の軍事同盟化を積極的におしすすめ、朝鮮に対しては拡声器放送などの敵対行為を繰り返しており、朝鮮半島の危機をかつけないほど高めている」と批判。「韓国で8月10日に開催される『汎国民大会』に韓青も積極的に参加し、尹政権を退陣させ平和を勝ち取っていきたい」と強調した。

韓国からキム・ウニョン民主労総慶南地域本部長がオンラインで連帯あいさつ。

「7月28日に韓米日安保協力フレームワークが合意された。これは3カ国で初めて合意された軍事協力の文書であり、韓米日軍事同盟化は着々と進んでいる」と指摘。「今回の韓米合同軍事演習は核兵器使

用を前提とした演習だ。民主労総や進歩陣営は、米国の覇権政策に反対し、尹政権を退陣させるための闘いを準備している。日本の仲間と連帯し、危険極まる軍事演習を中止させる」とアピールした。

米大使館に対して参加者全体でシュプレヒコール。韓米合同軍事演習中止、在日・在韓米軍撤退、辺野古新基地建設反対などを訴えた。

## ●韓青が「韓国発見ツアー チンチャコリア」開催…韓国の青年とともに分断の現実を実感



統一展望台を訪問したツアーの参加者たち

在日韓国青年同盟（韓青）は8月10日から12日にかけて、韓国で「在日コリアン青年学生のための本当の韓国発見ツアー チンチャコリア」を開催した。参加した同胞青年学生は、3日間を通じて祖国について学び、韓国の青年学生との連帯を深めた。

10日は開会式後、「8.15汎国民大会」に参加。尹錫悦（ユン・ソンニョル）退陣闘争、平和統一運動を現場で体感した。大会後モンダンヨンピル（朝鮮学校の

支援団体）事務所を訪問。双方の活動について理解を深めた。

11日にはDMZ（非武装地帯）平和紀行を実施。イムジン閣、オドゥサン統一展望台を訪問し、現地活動家の解説を受けながら、分断の現実を体感した。その後ソウル市内では、日本大使館前の「平和の少女像」前で作者夫妻から日本軍慰安婦問題と「平和の少女像」について解説を受けた。夜は国内青年学生団体と交流した。

12日には閉会式を開催。参加者からは「初めての祖国訪問だったが温かく迎えてくれたことが嬉しかった」「同年代で自分の考えをしっかりとって活動していることに驚いた」などの感想が出された。

韓成祐（ハン・ソンウ）中央委員長は3日間を振り返り、「紀行を通じて分断の現実と共に、闘う同志の姿を知ってもらえて良かった。これからも韓青にしかできない役割を共に果たしていこう」と語った。

## 행사에정 行事予定

9月

映画「WARmerica(ウォーメリカ)の運命」上映会(三重)

日時: 9月8日(日) 午後1時開場、午後1時30分開演 場所: 四日市市総合会館 内容: 【第1部】上映会 【第2部】講演会「多様化する世界と朝鮮半島情勢の展望」(講師: 金昌五(キム・チャンオ) 副委員長) 料金: 一般1,000円 高校生以下無料 主催: 同実行委員会 連絡先: 090-9021-4879 (金)

「自主・平和・統一! 光復節79周年 韓統連訪問団」報告会

神奈川-9月1日(日) 愛知-9月1日(日) 三重-8月25日(日) 大阪-8月25日(日) 兵庫-9月8日(日) 広島-8月28日(水) 主催: 各本部、大阪は日韓平和連帯と共催

編集後記

「8.15汎国民大会」に訪問団の一員として参加しました! 韓国の同志たちは危機的な情勢にもひるまず、まっすぐ祖国統一にむけて闘いを続けており、頼もしさを感じました。日本でもより一層がんばっていかねば、と決意をあらたにしました(李)